

巻頭言

副学長（情報担当）

ICT 基盤センター長

小林透

IoT、人工知能の急速な進展に伴い、組織インフラとしての情報基盤システムの重要性は、ますます高まっています。当センターは、長崎大学のすべての関係の皆様に対して、研究・教育の生産性向上を第一の目標として活動を行ってきました。情報基盤システムに対する要求は、日々高まっています。これらの高い要求に応えるべく、センター職員が情報企画課職員と一丸となって、絶え間ない情報セキュリティの強化、無線 LAN の拡充、性能改善、保守活動、そして教育支援システムの拡充を行ってまいりました。その努力の甲斐あって、関連の皆様から高い評価をいただいております。その努力の結晶として、来年度には、新キャンパス情報ネットワークシステムが稼働します。本ネットワークシステムは、使い勝手の向上と情報セキュリティの強化を両立させるため、抜本的なネットワーク構造の転換を図ります。具体的には、学外からの接続を受け入れるサーバ等と、一般的なクライアント等を接続するゾーンを完全に分離します。また、研究室等ごとに隔離された環境の提供を開始し、ネットワーク利用に際し個人認証を導入する予定です。さらに、2018 年度から地域の社会人の皆様に対して、課程認定プログラムである先端 IT 講座を開講し、高度なビッグデータ分析手法を教授しました。本講座には、自治体、民間企業から多くの方の参加をいただき、長崎の観光産業振興に資するビッグデータ分析手法を学んでいただきました。

このセンターレポートには、この 2 年間を振り返る意味で、各教員による活動報告・解説記事「教養教育カリキュラムにおける情報教育と入学時の新入生向け説明会」「情報セキュリティに関する取り組みについて」「LACS ビデオ配信システムのご紹介」「次期キャンパス情報ネットワークシステムについて」及びセンター等のミッションの再定義に関する取組状況の自己点検・評価報告書、センターが提供するサービスの利用実績・業務報告、本センターの関係規則も収録しております。

今後も、長崎大学関係者のみなさま、地域のみなさまの高い要求に応えるために、職員一同たゆまぬ努力を継続する所存です。今後ともセンターの成長を見守り、ご指導賜りますことをお願い申し上げます。